

「徴用工判決や韓国政府の対応についてどう思われますか？」

平成 30 年 12 月 5 日

●マイケル山田さんからの質問

韓国人の徴用工判決についてどう思われますか？日韓基本条約で対日損害賠償請求は破棄しているとおもわれますが、韓国政府の対応などもどうおもわれますか？

●西田昌司の答え

1965 年に日本と韓国の間で結ばれた日韓基本条約は、日本が併合時に朝鮮半島に残したインフラ等の資産や権利を日本は手放し、さらに当時の韓国国家予算の 2 年以上の資金を日本は韓国に提供するという破格な内容でしたし、そうやって両国間の請求権の「完全かつ最終的な解決」をして日韓は国交を樹立しました。その後の韓国の発展はこの条約があってこそだったのですが、そのような過去はなかったかのごとく、今になって（70 年以上も前の）戦時中の徴用工の話蒸し返す韓国という国に対しては私だけでなく多くの日本人が信用できない国との印象を持っていると思います。

韓国の蒸し返し技は徴用工に限った話ではありませんし、いわゆる従軍慰安婦問題についても全く同様です。朴槿恵^{パククネ}政権時の平成 27 年 12 月、日本と韓国の両政府が慰安婦問題を「最終的かつ不可逆的に解決させる」ことで合意し、元慰安婦への具体的な支援として、韓国政府が設立する財団に日本政府の予算で 10 億円を一括供出することを表明したのです。しかし、この約束についても簡単に反故にされてしまったのは皆さんも記憶に新しいことでしょう。

韓国人には、日本人を見下したいという心理がどうしても働いてしまうよ

うですし、日本に対しては親しみを覚える反面、そういった複雑な感情を持っているのでしょう。日本を悪く言うと支持率が上がるために指導者も反日の姿勢を打ち出さざるを得ないのですが、こういった韓国人の感情はこれまでの歴史を振り返ると理解できないこともないです。

今、NHK 大河ドラマ『西郷どん』が放送されていますが、李氏朝鮮と国交を結ぼうとした明治政府に対して朝鮮側がそれを拒絶したために、西郷は自らが使節として朝鮮に赴こうとしました。ロシアが南下政策をとって満洲から朝鮮半島、そして日本を虎視眈々と狙っていたために、日本は自国の防波堤として朝鮮の近代化を望んだのです。朝鮮半島が日本のように富国強兵に成功すればロシアの南下を防ぐことができますし、そのような理由で日本は李氏朝鮮を開国させたかったのですが、実際の李氏朝鮮は清の事実上の属国で近代化には程遠い状況でした。

日本は朝鮮に軍艦を派遣する等してなんとか開国させて、近代化のための改革の支援をしましたが、朝鮮には改革に反対する保守派もいて暴動騒ぎもありましたし、朝鮮を属国としていた清にとっても朝鮮に手を出す日本は邪魔でしかありません。日本と清は軍事的緊張を高めながらも、「朝鮮からの撤兵、及び、朝鮮に出兵する場合の相互通知の義務付け」といった内容の天津条約を明治 18 年に締結しました。その 9 年後の明治 27 年に朝鮮で大規模な農民反乱が起きて、朝鮮は清に軍の派遣を要請しましたが、天津条約を結んでいながら清だけに派兵させるわけにもいかずに日本も朝鮮に派兵しました。乱の鎮圧後、朝鮮が日本と清に撤兵を求めましたがどちらの軍も受け入れず、ついには両国の軍が衝突して日清戦争となりました。

日本が日清戦争に勝利した後、今度は長年に渡って不凍港を求めていたロシアが満洲を占領して朝鮮半島をも領土にしようとしたために日本とロシアの間で軍事的緊張が高まり、日露戦争にまで発展しました。世界の列強は日本が敗れるだろうと予測していましたが、日本は世界最強と言われたロシアを相手に勝利を収め、大韓帝国（1897 年から 1910 年までの間に李氏朝鮮が使用していた国号）を保護国としました。1910 年には韓国併合が行われて

朝鮮は日本の一部となりましたが、これはあくまでも両政府の合意のもとでなされたもので、日本は欧米諸国のような収奪型の植民地政策をするつもりはありませんでしたし、むしろ日本は朝鮮半島に凄まじいまでの資金を投入して朝鮮半島の近代化に大きく貢献したのです。

しかしそうは言っても、併合された過去については悔しい思いがあるのでしょうし、そのような過去がなかったかのごとく韓国人は日本に対してありもしない話をでっち上げて嫌がらせを繰り返すわけですが、一方、日本の側にもヘイトスピーチをする人間が出てきて朝鮮人に対して口汚く罵る行為を公然と行いはじめました。日本人を貶めようとする朝鮮人も、それに対して朝鮮人を罵る日本人も、どちらも非常に見苦しいですし、同じ穴の貉と言えますが、私はそういった両国における人々はノイジーマイノリティーだと思います。そのようにいがみ合っても互いに悪感情しか生まないし意味がないから止めよう、と感じるまともな人々がサイレントマジョリティーだと信じたいですし、今回の徴用工判決に疑問を持つ韓国人も少なくないでしょう。

今回の徴用工判決については、日韓基本条約で済んでいる話ですから、韓国の裁判所があのような判決を出したとしても韓国政府が全ての責任を負うべきですし、もうこれ以上他国を巻き込むような真似は止めていただかなければなりません。また、何故今回のような判決が出るのかと考えると、韓国内で日韓基本条約についての正しい教育や説明をしていないからだと思いますが、こんな調子のことを続けていると、韓国と約束をしても簡単に反故にされてしまうと世界から見下されてしまいますし、約束を守れないような国は国際社会でも相手にされなくなってしまいうでしょう。そのことに韓国が気付かなければ、世界中で嫌韓感情が高まるだけで韓国にとっても決してプラスにはならないのです。

今回の徴用工判決は、国際問題ではなく（韓国の）国内問題です。国際法に反するような判決については韓国内できちんと整理をするべきですし、そのような判決に従う義務は日本には全くない、とはっきりと宣言すべき

です。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>